

Title	理財学会会報
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1923
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.17, No.10 (1923. 12) ,p.1838(228)- 1839(229)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	雑報
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19231214-0228">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19231214-0228</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

難きものありとする場合に於ても尙は本書の與ふる刺戟と其教ふる所の少からざるべきは確信して疑はざる所なり」と。若し夫れ原著者が本書を博士が幼少の折に始めて用ひ其後藏せられた古き小さき袴に贗し、今更此小さき袴を展覽會に出す氣にはなれないと述べて居られるに至つては、寧ろ著者の謙讓の言と認むべきである。

最後に、譯文は極めて明快であつて原著の意を盡して遺憾なきことを、附言しなければならぬ。而も原著者が本譯書をしてアツプツデーートのものたらしめんが爲に隨所に附せられた補註と譯者が特に卷末に加へられた索引とは讀者と共に筆者も之等原著者並に譯者に感謝の意を表しなければならぬ。

今や經濟哲學が經濟學徒並に一般文化科學の學徒に依つて一の重要な問題とせらるゝ秋に當つて本譯書を得たことは斯學研究者の至幸と云はなければならぬ。(金原賢之助)

雜報

理財學會々報

十一月八日午後二時半より大ホールに於て理財學會秋季講演會開催、興味ある時事問題に就きて堀江、小泉兩教授の講演あり、聽講者五百を算す

變災と動亂

小泉信三氏

社會革命は資本主義發達の最高度に達したるところに起らずして、叛亂鎮定機關の混亂せるところに起りて他の波及すとのラヂエクの説を紹介し、此説を奉ずるものは震災に際して動亂を企てたりとするも異しむに足らざることを言ひ、若し斯くして動亂起らば、一方ど全國との對抗を見るに至るべしとて、巴里コンミュンの前例を説き、結局ブルジョワジイは武力革命よりも合法運動を恐るゝのエングルスの言を引き我が邦社會主義者の態度を批判し、選舉運動を遠慮すべきの理由なき

本一 鈴木 和田 濱谷 松本 檜原 後藤

ことを論ず。

震災に關する種々の感想 堀江 歸一氏

彼の流言蜚語に對する我國民の態度は國民教養の欠陥を明かに暴露せるものなりとし、火災保險問題に關しては被保險者が契約規定の明文を全然無視せる要求を爲せるものなりとし邦人に契約神聖の觀念渺きを慨歎す。次に政府の應急對策は資本家階級の保護にのみ偏せるの嫌ひなきやを論じ外債問題に就いては同情と經濟關係とを混同視するの愚を戒しめ寧ろ内債募集の得策ある所以を謂ふ。更に諸經費節減、商業振興並びに失業者救済の急務なるを指摘す。

午後五時閉會、堀江教授を中心として萬來舎に茶話會を開き、卓を圍んで歡談々笑、午後七時散會す。

出席幹事次の如し

- 本三 一柳 樫森 山田 平野
- 本二 日比野 渡邊 夏目 永田 江越

駒崎